

第3文型

1. 第3文型とは

第3文型は「S+V+O」（主語+動詞+目的語）の形です。第3文型は、第1文型「S+V」に目的語（O）が加わった文型です。目的語をとる（動詞の対象となる語）のが特徴です。

目的語になるのは、名詞や代名詞がほとんどです。動詞の直前にあり、「～を」「～に」の、「～」の部分为目的語である、と考えると理解しやすいです。動作の対象となる語を見つけ、さらに「～を」「～に」の部分と照らし合わせると目的語は探しやすいと思います。

また、第2文型と混乱する人がたまにいますが、第2文型はS+V+Cの文でS=Cであったのに対し、第3文型はS+V+Oの文でS≠Oです。

例文：

I watched TV last night.

（私は昨日テレビをみました。）

まず、この場合の動作は、みました（watched）ですが、テレビ（TV）が動作の対象になっているのがわかりますか。

「みました」

→ （じゃあ何をみたの？）

→ テレビをみました

このように理解して下さい。

次に、上記した「～を」「～に」に照らし合わせて下さい。この文は「テレビを」となっているので、「テレビ」が「～」に相当します。

よって、テレビが目的語です。第3文型の特徴である、「S (私) ≠ O (テレビ)」の関係にもなっています。

また、「昨日 → みた」というふうには、“いつ”という情報を加えて、“みた”という動作を詳しく説明しています。動詞を修飾しているのです。昨日 (last night) は副詞 (修飾語) です。従って、この文は下のよう理解することができます。

⇒ I watched TV last night.
S V O 修飾語

では、次の例文にいきたいと思います。

例文：

We eat tempura every day.
(私たちは毎日天ぷらを食べます。)

体に悪そうなこの文では、動作 (eat) の対象は天ぷら (tempura) です。そして、「天ぷらを」とあるので、「天ぷら」が目的語です。

また、「毎日」は「食べる」という動詞を詳しく説明しているのです。毎日 (every day) は副詞です。よって、この文は

⇒ We eat tempura every day.
S V O 修飾語句

このように理解することができます。

2. 第3文型の不定詞と動名詞

第3文型では不定詞や動名詞が使われることがあります。

1 不定詞が使われるパターン

不定詞とは、「to + ~」の形をしたもので、3つの用法がありました。ここでは、名詞的用法が使われます。

例文：

I like to sing.

(私は歌うことが好きです。)

動作の対象は、

「好き → (何が好き?) → 歌うこと」

となるので、歌うこと (to sing) です。

また、少し強引ですが、この日本語訳を、「私は歌うことを好みます。」と訳すと「~を」の部分ができるので、「歌うこと」が目的語です。よって、この文は、

⇒ **I like to sing.**

S V O

S+V+O の第3文型です。第3文型の特徴である「**S** (私) ≠ **O** (歌うこと)」にもなっています。

2 動名詞が使われるパターン

動名詞とは、「～+ ing」の形をしたものです。

例文：

He likes playing soccer.

(彼はサッカーをするのが好きです。)

動作の対象は、

「好き → (何が好き?) → サッカーをする」

となるので、サッカーをする (playing soccer) です。

また、これも日本語をすこし変えて、「彼はサッカーをすることを好みます。」としてみましょう。すると、「～を」の部分ができるので、「サッカーをすること」が目的語です。よって、この文は、

⇒ He likes playing soccer.

S V O

S+V+O の第3文型です。第3文型の特徴である「S (彼) ≠ O (サッカーをすること)」にもなっています。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法